



キャッチフレーズ

区の魅力発信！ 区民と共に考え、共に行動する区役所！
～ 地域活動をしっかりと支え、区民との協働によるまちづくりに向けて～

局・区の運営の責任者

中央区長 佐藤浩三
副区長 長田 尚

局・区役の役割・目標

- 1 区ビジョンの実現に向け、区民会議の運営やまちづくり会議の支援とともに、異業種交流による新たな発想での取組みを行う「中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト」を実行し、区民との協働によるまちづくりを進めます。

区ビジョンを実現するため、区民会議の効果的な運営やまちづくり会議を積極的に支援するとともに、平成26年度に立ち上げ、多くの区民の参加により進められている防犯・交通安全、福祉・健康、文化・教育・スポーツ、商業・イベント、魅力発信及び広報宣伝の総合プロジェクトを引き続き実行し、地域の課題解決や活性化に向けた更なる区民との協働によるまちづくりを進めます。
- 2 地域の幅広い連携による自主的な活動を促進するため、個々の地域活動の支援を行うとともに、区役所がコーディネーター役となって、地域活動団体間や行政・支援機関との連携を広く進める「(仮称)中央区支え合い・助け合いの地域連携推進体制」を新たに構築し、区民主体のまちづくりを進めます。

地域の幅広い連携による自主的活動を促進するため、地域活性化事業交付金等を活用して個々の地域活動の支援を行うとともに、自治会のほか、高齢者支援や子育て家庭支援等の地域福祉分野等の地域活動団体が抱える様々な問題の解決の加速化に向けて、区役所が当該団体との関わりを深めながらコーディネーター役となって、団体間や行政・支援機関との連携を広く進める「(仮称)中央区支え合い・助け合いの地域連携体制」を新たに構築し、区民主体のまちづくりを進めます。
- 3 区民との協働による区民の誰もが“安全で安心して暮らせる”地域づくりを進めます。

まちづくり会議や地域活動団体の他、市民活動団体、大学、企業とも連携を図りながら、防災、防犯・交通安全、福祉・健康等の地域活動を推進し、区役所職員も参加しながら、区民の誰もが“安全で安心して暮らせる”地域づくりを進めます。
- 4 区民との協働による区民の誰もが“夢と希望を持てる”地域づくりを進めます。

まちづくり会議や商店街団体、文化・スポーツ団体、公民館の他、市民活動団体、大学、企業とも連携を図りながら、商業、文化・スポーツ、青少年健全育成等の地域活動を推進し、区役所職員も参加しながら、区民の誰もが“夢と希望を持てる”地域づくりを進めるとともに、区制施行5周年の節目を区民と共有するための取組を進めます。
- 5 区民の立場に立ったきめ細やかな行政サービスを通じて、CS（顧客満足度）の向上に努めます。

職員の意識を高め、区役所の各組織間の連携により、区民一人ひとりや地域の立場に立ったきめ細やかな行政サービスをはじめ、区民が求める分かりやすい行政情報や地域情報を様々な媒体を活用して、柔軟かつタイムリーに提供することにより、CS（顧客満足度）の向上に努めます。

局・区経営の視点・方針

- 1 分野を問わずに地域課題を包括的に担当し、課題解決に向けて主導的な役割を果たす区役所を目指します！
- 2 常に現場に向き、現場の声を聞きながら、“区民と共に考え、共に行動する”区役所を目指します！
- 3 常に区民の立場に立ち、区民に寄り添った“区民に信頼され、親しまれる”区役所を目指します！
- 4 柔軟で動きが速く、確実な仕事ができる区役所を目指します！
- 5 職員一人ひとりが、公務員倫理と服務規律を遵守する自覚を強く持つとともに、常に改善・改革意識や挑戦する意欲を持ち続ける区役所を目指します！

現状と課題

現 状	課 題																																			
<ul style="list-style-type: none"> 各地区では、自治会、防犯協会、交通安全協会、民生委員・児童委員協議会、地区社会福祉協議会、公民館運営協議会、商店街、各種祭りやイベント実行委員会など、様々な団体・組織が地域の課題解決や活性化に向けた積極的な活動を行っている。 自治会をはじめとした地域活動団体が主体となって、地域の実情に応じたきめ細やかな公共的な活動を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会を始め、各種団体・組織の多くは、継続的な活動に向けた新たな担い手や後継者不足の問題を抱えている。 新たな担い手や後継者として、シニア世代や大学生を中心とした若者への効果的なアプローチが求められている。 活動における過度の負担の軽減や人材の相互補充、また、事業の相乗効果を高めるため、各団体・組織間の連携が必要である。 																																			
<ul style="list-style-type: none"> 「中央区区ビジョン」に基づき、区の個性や特徴を生かしたまちづくりを進めている。 区民会議やまちづくり会議等での議論を踏まえて、協働によるまちづくりを進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「中央区区ビジョン」の実現に向け、より一層協働による取組みを進める必要がある。 取組みにあたっては、区民会議やまちづくり会議での議論を活活化させながら、課題や目標を共有化する必要がある。 まちづくりに関する様々な情報を幅広く区民に提供していく必要がある。特にこれまで地域に関心が薄かった若い世代へ積極的にアプローチする必要がある。 																																			
<ul style="list-style-type: none"> 都市化の進展やライフスタイルの多様化などにより、地域のつながりや連帯感が薄れている。 こうした地域の状況や役員等の高齢化などにより自治会加入率が低下傾向にある。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央区管内自治会加入率(%)</td> <td>53.7</td> <td>56.3</td> <td>55.0</td> </tr> <tr> <td>全市自治会加入率(%)</td> <td>58.3</td> <td>57.8</td> <td>56.7</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	中央区管内自治会加入率(%)	53.7	56.3	55.0	全市自治会加入率(%)	58.3	57.8	56.7	<ul style="list-style-type: none"> 自治会活動の周知を広く行い、区民の自治会活動に対する理解を深め、自治会への参加意識を醸成する必要がある。 他団体との連携やマンション等への集中的なアプローチなど、効果的な加入促進策を進める必要がある。 																							
	H24	H25	H26																																	
中央区管内自治会加入率(%)	53.7	56.3	55.0																																	
全市自治会加入率(%)	58.3	57.8	56.7																																	
<ul style="list-style-type: none"> 自転車の盗難の割合が高い。 振り込め詐欺は、平成25年に急増し、横ばいで推移している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央区内刑法犯認知件数</td> <td>2,862</td> <td>2,633</td> <td>2,396</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">うち自転車の盗難</td> <td>件数</td> <td>922</td> <td>764</td> <td>748</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>32.2</td> <td>29.2</td> <td>31.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">うち振り込め詐欺</td> <td>件数</td> <td>7</td> <td>35</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>0.07</td> <td>1.3</td> <td>1.5</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	中央区内刑法犯認知件数	2,862	2,633	2,396	うち自転車の盗難	件数	922	764	748	割合(%)	32.2	29.2	31.2	うち振り込め詐欺	件数	7	35	36	割合(%)	0.07	1.3	1.5	<ul style="list-style-type: none"> 地域の声を反映し、環境に配慮した防犯灯の設置を支援する必要がある。 関係団体や警察と連携し、防犯に関する更なる普及啓発を進めるとともに、地域活動団体の主体的な活動を支援し、その活性化を図る必要がある。 交通事故防止の啓発活動等の際に、振り込め詐欺の被害防止の注意喚起を行うなど、事業の相乗効果を図り、効率的・効果的に事業を進める必要がある。 									
	H24	H25	H26																																	
中央区内刑法犯認知件数	2,862	2,633	2,396																																	
うち自転車の盗難	件数	922	764	748																																
	割合(%)	32.2	29.2	31.2																																
うち振り込め詐欺	件数	7	35	36																																
	割合(%)	0.07	1.3	1.5																																
<ul style="list-style-type: none"> 全体の交通事故件数は減少傾向にあるものの、自転車が関係した事故や高齢者の事故の割合が増えている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央区内交通事故発生件数</td> <td>1,369</td> <td>1,266</td> <td>1,235</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">うち自転車の交通事故</td> <td>件数</td> <td>475</td> <td>394</td> <td>418</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>34.7</td> <td>31.1</td> <td>33.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">[自転車交通事故のうち、18歳以下が関係する事故(死傷者数)の件数(上記の内数)]</td> <td>件数</td> <td>293</td> <td>113</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>61.7</td> <td>28.7</td> <td>29.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">うち高齢者の交通事故</td> <td>件数</td> <td>359</td> <td>367</td> <td>319</td> </tr> <tr> <td>割合(%)</td> <td>26.2</td> <td>29.0</td> <td>25.8</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	中央区内交通事故発生件数	1,369	1,266	1,235	うち自転車の交通事故	件数	475	394	418	割合(%)	34.7	31.1	33.8	[自転車交通事故のうち、18歳以下が関係する事故(死傷者数)の件数(上記の内数)]	件数	293	113	125	割合(%)	61.7	28.7	29.9	うち高齢者の交通事故	件数	359	367	319	割合(%)	26.2	29.0	25.8	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体や警察と連携し、区民に対する交通安全に向けた啓発活動に更に取り組む必要がある。 年齢、世代に応じたきめ細やかな啓発活動を進め必要がある。 特に自転車事故が多い若者や高齢者に重点を置いた取組みが必要である。 警察による街頭指導や危険箇所での注意喚起など、より実効性の高い取組みが必要である。
	H24	H25	H26																																	
中央区内交通事故発生件数	1,369	1,266	1,235																																	
うち自転車の交通事故	件数	475	394	418																																
	割合(%)	34.7	31.1	33.8																																
[自転車交通事故のうち、18歳以下が関係する事故(死傷者数)の件数(上記の内数)]	件数	293	113	125																																
	割合(%)	61.7	28.7	29.9																																
うち高齢者の交通事故	件数	359	367	319																																
	割合(%)	26.2	29.0	25.8																																
<ul style="list-style-type: none"> 商店街を利用する顧客の流出や、空き店舗が増加している。また、商店会の加入率が低下している。 一方で、商店街が中心となった地域イベントなど、地域活性化に向けた活動が進められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 商店街の活性化を図るため、魅力ある商店街づくりに向けた取組みを支援するとともに、商店街の地域貢献を支援していく必要がある。 																																			
<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災発生後の経過を踏まえ、大規模災害を想定した更なる対策が求められている。 地域の防災意識が高まり、自主的な防災活動が始まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時に備え、区民と区役所が一体となった防災対策を進める必要がある。 災害発生時における、自助・共助の重要性について、更に区民の理解を深める必要がある。 地域の防災力の向上に向け、防災資機材の充実や自主的な防災訓練を促進する必要がある。 																																			
<ul style="list-style-type: none"> 身近な場所での利便性の高い窓口サービス・相談体制の提供が求められている。 社会環境の変化に対応した行政サービスの提供が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 区民ニーズに対応した窓口サービス・相談体制の提供が必要である。 行政サービスを効果的に提供するため、民間活力を活かすとともに、職員の更なる資質向上に取り組む必要がある。 																																			
<ul style="list-style-type: none"> 所管する施設や設備の老朽化が進んでいる。 災害発生時の拠点施設としての機能を維持する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全性と利便性を高めるため、施設の適正な維持管理を行う必要がある。 																																			

広域連携を視野に入れた取組

--

No.	事務事業名		平成26年度		平成27年度 指標・目標	広域 連携の 有効性
	事務事業の概要		指標・目標	実績・評価等	目標達成により 得られる成果	
1 区ビジョンの実現に向け、区民会議の運営やまちづくり会議の支援とともに、異業種交流による新たな発想での取り組みを行う「中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト」を実行し、区民との協働によるまちづくりを進めます。						
1	区ビジョンの推進事業	平成24年8月に策定した「中央区区ビジョン」を推進させるための事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 「中央区区ビジョン」を推進するため、学生など市民と協働した取り組み、事業を実施する。 イベントの開催時など様々な場で、区民の意識や意向をアンケートなどの多様な手法により把握する。 	実績 中央区のまちづくり、住みやすさ、自治会への加入状況等の区民意識を把握するため、区内のイベント会場においてアンケート調査を実施した。(標本数1,151件) ・さがみはら秋の大市民まつり会場 ・潤水都市さがみはらフェスタ会場 ・光が丘ふれあいいきいきフェスタ会場 ・中央区拡大区民会議会場	・平成25年度及び26年度に実施した区民意識アンケート調査により得られた課題等について、より深く掘り下げるため詳細なアンケート調査を実施する。	
				評価 ・「中央区意識アンケート」により、中央区の認識度や住みやすさ、地域活動などについて区民の意識を把握することができた。	・区民の意識や意向を詳細に把握することにより、さらなる事業展開に活かすことができる。	
2	区民会議の運営	中央区区ビジョンの推進や区の課題、まちづくりの方向性について協議する場として設置した区民会議の円滑な運営と活性化を図り、地域特色を生かした区民主体によるまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 第2期の審議テーマ「中央区の魅力創出」について検討・審議した取り組みをまとめ、報告する。 第3期区民会議(平成26年7月～)において、区ビジョンの進捗状況を確認するとともに、各地区の状況を踏まえ、区のまちづくりや地域活動の活性化について審議する。 区ホームページや区民会議だより等を通じて審議状況等の情報発信を充実させる。 	実績 ・第2期区民会議で審議した「中央区らしさの魅力の創出」への提案をまとめた報告書を作成するとともに、区HPへの掲載や市施設等での配布、自治会回覧により区民に周知を図った。 ・第3期区民会議において、区民が参加して意見交換する「中央区拡大区民会議」(テーマ:区民や地域の連携・協力による魅力あるまちづくり)を開催した。 ・区民会議の審議状況を区HPや区民会議だよりにより情報発信した。	・区ビジョンの進捗状況を確認するとともに、各地区の状況を踏まえ、区のまちづくりや地域活動の活性化について審議する。 ・区ホームページや区民会議だより等を通じて審議状況等の情報発信を充実させる。	
				評価 ・第2期区民会議でまとめた「中央区らしさの魅力の創出」の提案報告書により、中央区の魅力とその取り組みを広く区民に提示できた。 ・第3期区民会議で開催した「中央区拡大区民会議」で地域での連携・協力の方策について理解を深めることができた。	まちづくりの課題の解決や区民主体による地域活動の活性化が進む。	
3	まちづくり会議の支援	各地区のまちづくりの課題や、その解決に向けた活動に協働で取り組むための話し合いの場である「まちづくり会議」の運営を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり会議の活動の周知を図る。 地域政策担当によるまちづくり会議に対する支援を進める。 話し合いのテーマや内容、進行状況等に応じて適宜、支援を追加又は強化する。 	実績 ・区ホームページを活用してまちづくり会議の活動の周知を図った。 ・地域政策担当による情報提供や会議運営補助などまちづくり会議に対する支援を進めた(全体会開催回数62回、延出席者数1,119人、延出席率77.5%、部会等開催回数30回)。	・まちづくり会議の活動の周知を図る。 ・地域政策担当による情報提供や会議運営補助などまちづくり会議に対する支援を進める。	
				評価 地域政策担当によるまちづくり会議に対する支援により、「自分たちのまちづくりは自分たちで考える」という住民主体をベースとした話し合いに移行してきており、地域住民のまちづくり会議に対する意識が高まってきている。	自主的・自立的に地域課題解決を行うための実践的な話し合いが進み、より効果的な課題解決に向けた活動につながる。	
4	中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト	中央区の将来像を示す「中央区区ビジョン」の実現をめざして、区民会議やまちづくり会議で議論されてきた検討課題を実行する組織として、様々な分野の活動団体等が横断的に連携し、5つの個別プロジェクト(防犯・交通安全、福祉・健康、文化・教育・スポーツ、商業・イベント、魅力発信)の実施と広報宣伝を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初、各種地域活動団体・市民団体や大学・企業等のヒアリングを広く行い、その結果を踏まえてテーマを設定し、複数のプロジェクトを、8月頃を目途に立ち上げる。 テーマごとに異なる分野の団体等をメンバーとするプロジェクトを実施し、相互の補完効果や相乗効果により、地域の課題解決や活性化に向けた取り組みの実効性を高め加速化させる。 	実績 ・区内の各種団体にヒアリングを行い、区ビジョンの実現を目的に、団体から推薦をいただいた委員31人の「中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト実行委員会」が8月に立ち上がった。 ・実行委員会の中にプロジェクト事業を実施するプロジェクト部と広報宣伝を行う広報宣伝部を設置し、プロジェクト部に5つのプロジェクト班を置き、事業実施に向けた取り組みを始めた。 【プロジェクト部】 ・防犯・交通安全 ・福祉・健康 ・文化・教育・スポーツ ・商業・イベント ・魅力発信 【広報宣伝部】	前年度に検討・準備を進めてきた取組を着実に実施するとともに、取組の振り返りを行いながら、次のステップに向けた検討を行い、更なる取組を進める。	
				評価 これまでに参加したことがない団体・企業の参加や、これまでにない発想での取組が進められたことにより、地域の課題の解決や活性化に向けた区民主体の新たな取組が開始できた。	プロジェクトの取組を広く区民に知ってもらうことにより、プロジェクトの背景となる課題や目的に対する区民の理解を深め、課題解決の加速化につながる事業の拡充や新たな取組を促進できる。	

No.	事務事業名		平成26年度		平成27年度 指標・目標	広域 連携の 有効性
	事務事業の概要		指標・目標	実績・評価等	目標達成により 得られる成果	
5	区の魅力発信事業		・区の一体感や区民意識の醸成のため、イメージソングの制定及び周知や、各種事業を実施する。 ・ホームページや情報誌などそれぞれの特徴に合わせた区の魅力発信を行う。	実績 ・区民をはじめ多くの方に楽曲の選考等に関わってもらい、幅広い年代からの投票によって「中央区の歌」を制定した。また、区内イベントでのお披露目やイベント等での紹介・啓発を行い、区民意識の醸成を図るべく歌の周知を実施した。 ・ホームページや情報発信コーナーなど様々な媒体による区の魅力や情報の発信を行った。	・中央区の歌を活用した地域のにぎわいづくりを行い、区民意識の更なる醸成を図る。 ・誰もが見やすい、活用しやすいホームページを検討し、区の情報発信を行う。	
	区民間の一体感をはぐみながら、区への愛着や誇りなどの意識の醸成を図るため、区独自の魅力を再発見し、新たな魅力として区内外に情報発信するなど、「区の魅力づくり」に向けた事業を実施します。			評価 中央区の歌の制定ができ、シンボリックなものも1つ増やすことができた。庁舎内にタペストリーを使用した地域の紹介なども行い、区の魅力を発信できた。	リアルタイムに、区の情報や魅力を区民をはじめ多くの方が享受できる。	
6	まちづくりセンターのまちづくり機能の強化		・地域振興課及び各地域政策担当職員による定期的な合同会議を開催する。 ・地域振興課職員と各地域政策担当職員との連携による取組を推進する。 ・各所属長等による定期的な情報交換を実施する。	実績 定期的なまちづくりセンター所長会議を開催し情報交換を行った。また、地域政策担当間の情報共有を図るため、地域政策担当連絡会を随時開催した。	・地域振興課及び各地域政策担当職員による定期的な合同会議を開催する。 ・3地区ごとに総括責任者を設け、重点的な取組を行う。 ・各センター長等による定期的な情報交換を実施する。	
	区役所・地域振興課が中心となって、区内9地区の地域政策担当職員の相互の情報交換・課題共有や連携を図った事業を展開するとともに、個々の地区への応援などの連携体制の構築を図ります。			評価 地域政策担当職員や各センター長等による定期的な情報交換を実施したこと、区内9地区の相互の情報交換・課題の共有を図ることが出来た。	・他の地区の取組を参考にした個々の地域政策担当職員の新たな課題解決方法を発見できる。 ・きめ細やかな地元対応ができる。 ・地区横断的な効率的、効果的な取組を促進できる。	
2 地域の自主的な活動を促進するとともに、自治会等地域活動団体の活性化を図るため、幅広く団体間の連携等を進める 「(仮称)中央区支え合い・助け合いの地域連携推進体制」を新たに構築し、区民主体のまちづくりを進めます。						
1	中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト[再掲]		・年度当初、各種地域活動団体・市民団体や大学・企業等のヒアリングを広範に行い、その結果を踏まえてテーマを設定し、複数のプロジェクトを、8月頃を目途に立ち上げる。 ・テーマごとに異なる分野の団体等をメンバーとするプロジェクトを実施し、相互の補完効果や相乗効果により、地域の課題解決や活性化に向けた取組の実効性を高め加速化させる。	実績 ・区内の各種団体にヒアリングを行い、区ビジョンの実現を目的に、団体から推薦をいただいた委員31人の「中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト実行委員会」が8月に立ち上がった。 ・実行委員会の中にプロジェクト事業を実施するプロジェクト部と広報宣伝を行う広報宣伝部を設置し、プロジェクト部内に5つのプロジェクト班を置き、事業実施に向けた取組を始めた。 【プロジェクト部】 ・防犯・交通安全 ・福祉・健康 ・文化・教育・スポーツ ・商業・イベント ・魅力発信 【広報宣伝部】	前年度に検討・準備を進めてきた取組を着実に実施するとともに、取組の振り返りを行いながら、次のステップに向けた検討を行い、更なる取組を進める。	
	中央区の将来像を示す「中央区区ビジョン」の実現をめざして、区民会議やまちづくり会議で議論されてきた検討課題を実行する組織として、様々な分野の活動団体等が横断的に連携し、5つの個別プロジェクト(防犯・交通安全、福祉・健康、文化・教育・スポーツ、商業・イベント、魅力発信)の実施と広報宣伝を行います。			評価 これまでに参加したことがない団体・企業の参加や、これまでにない発想での取組が進められたことにより、地域の課題の解決や活性化に向けた区民主体の新たな取組が開始できた。	プロジェクトの取組を広く区民に知ってもらうことにより、プロジェクトの背景となる課題や目的に対する区民の理解を深め、課題解決の加速化につながる事業の拡充や新たな取組を促進できる。	

No.	事務事業名		平成26年度		平成27年度 指標・目標	広域 連携の 有効性
	事務事業の概要		指標・目標	実績・評価等	目標達成により 得られる成果	
2	地域の自主的活動の促進		<p>・地域における自治会加入促進の取組を推進する。</p> <p>・交付金制度の周知や、活動事例の共有化を図る。</p> <p>・活動事例集を作成する。</p> <p>・平成27年度当初に事業報告会を開催する。</p>	<p>実績</p> <p>・活動事例集の作成や区版広報紙、区ホームページによる情報発信により交付金制度の周知を図った。</p> <p>・事業実施件数46件</p> <p>・予算執行率87.1%</p>	<p>・地域における自治会加入促進の取組を推進する。</p> <p>・交付金制度の周知や、活動事例の共有化を図る。</p> <p>・活動事例集を作成する。</p> <p>・平成28年度当初に事業報告会を開催する。</p>	
	より多くの市民の参加と協働による地域の活性化を図るため、「地域活性化事業交付金」を交付し、各地区で展開される自治会への加入促進の取組や老人会、子ども会等様々な地域活動団体の自主的・公共的な活動を支援します。			<p>評価</p> <p>地区の特性に応じた多様な事業展開により、地区の活性化や課題解決に寄与した。</p>	<p>・交付金制度の周知を図り、活動事例集の作成により情報の共有化を図ることで、地域課題の解決につながり、地域の活性化が図られる。</p>	
3	自治会加入促進		<p>・9地区の地区自治会連合会と区役所が連携を図りながら、キャンペーンの実施、掲示板の活用など単位自治会を巻き込んだ協働の取組を実施する。</p> <p>・中央区の特性を踏まえ、不動産関係団体との連携に基づくマンション等の集合住宅へのアプローチなどを強める。</p>	<p>実績</p> <p>・平成26年4月5日・6日のさくらまつりでの加入促進キャンペーンに地域活力推進員が参加した。また3月に行われる自治会加入促進キャンペーンにも地域活力推進員が参加した。</p> <p>・区民課窓口において転入者に配布する袋に「自治会加入のお願い」を添付し、積極的な自治会加入を促進した。</p>	<p>・9地区の地区自治会連合会と区役所が連携を図りながら、キャンペーンの実施、掲示板の活用など単位自治会を巻き込んだ協働の取組を実施する。</p> <p>・活性化事業交付金を活用した地域の加入促進の取組を支援する。</p> <p>・中央区の特性を踏まえ、不動産関係団体との連携に基づくマンション等の集合住宅へのアプローチなどを強める。</p>	
	・地域コミュニティの中心的な役割を担っている自治会が活性化するためには、多くの市民が参加することが不可欠であり、市自治会連合会との基本協定に基づき、各まちづくりセンターと一体となって自治会との協働による自治会加入促進の取組をより一層推進します。			<p>評価</p> <p>・転入者の多い時期にキャンペーンを行うことで自治会加入を効果的にPRすることができた。</p> <p>・区役所の窓口における自治会加入の申し込みにつながっている。</p>	<p>・自治会加入促進がより一層推進される。</p> <p>・地域の課題解決や活性化に取り組む担い手が増え、区や地区の特色を生かしたまちづくりが推進される。</p>	
4	自治会活動拠点の整備支援		<p>陽光台5丁目自治会、石橋自治会、矢部第一第二自治会、嶽之内自治会に対して補助を行う。</p>	<p>実績</p> <p>・陽光台5丁目自治会、石橋自治会、矢部第一第二自治会、嶽之内自治会、宮下自治会に対して補助金を交付し、自治会活動拠点整備の支援を行った。</p>	<p>・栄町自治会、虹吹自治会、番田諏訪面自治会に対して補助を行う。</p> <p>・まちづくりセンターが地域の窓口となり、地域振興課がとりまとめを行う。窓口業務支援のため、政策担当を対象とした研修会を実施する。</p>	
	自治会集会所建設等に対し補助を行います。			<p>評価</p> <p>自治会活動拠点の整備により、積極的な自治会活動が展開される環境が整った。</p>	<p>自治会活動拠点の整備により、積極的な自治会活動が展開される環境が整う。</p>	

No.	事務事業名		平成26年度		平成27年度 指標・目標	広域 連携の 有効性	
	事務事業の概要		指標・目標	実績・評価等	目標達成により 得られる成果		
5	地域政策担当及び地域活力推進員の配置による地域活性化支援並びに団体事務局業務支援		<p>・地域政策担当及び地域活力推進員の資質向上のための研修を年1回以上実施する。 【地域政策担当】 ・地域政策担当間の情報共有を図るため、地域政策担当連絡会を毎月1回開催する。 【地域活力推進員】 ・安全運転研修等、他機関が主催する研修にも積極的に参加する。</p>	実績	<p>・地域政策担当間の情報共有を図るため、地域政策担当連絡会を随時開催した。 ・区内9地区の地域政策担当及び地域活力推進員を対象に、コミュニケーション能力の向上を目的とした専門研修を実施した。</p>	<p>・地域政策担当及び地域活力推進員の資質向上のための研修を年1回以上実施する。 【地域政策担当】 ・地域政策担当間の情報共有を図るため、地域政策担当連絡会を毎月1回開催する。 【地域活力推進員】 ・安全運転研修等、他機関が主催する研修にも積極的に参加する。</p>	
	区内9地区に「地域政策担当」及び「地域活力推進員」を配置し、地域の公共的な活動の支援や区内の政策形成を行う体制を構築するとともに、自治会等地域団体の事務局業務を支援します。			評価	<p>地域住民とコミュニケーションを図る機会が多い立場にある地域政策担当及び地域活力推進員を対象に、お互いを理解しあう上で必要となる「相手のことを知る」という態度と「きく」スキルを身につける研修を実施したことにより、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。</p>		
6	新	「(仮称)中央区支え合い・助け合いの地域連携体制」の構築		実績	<p>・第1ステップ 区役所が地域福祉や健全育成等の団体との情報・意見交換を行い、団体が抱える問題等を把握する。 ・第2ステップ 区役所がコーディネーター役として当該問題の解決に向けて、必要な団体・機関との連携を試行的に進める。 ・第3ステップ 試行を積み重ねながら、定期的な連携会議の設置など、恒常的な仕組みづくりを行う。</p>	<p>・第1ステップ 区役所が地域福祉や健全育成等の団体との情報・意見交換を行い、団体が抱える問題等を把握する。 ・第2ステップ 区役所がコーディネーター役として当該問題の解決に向けて、必要な団体・機関との連携を試行的に進める。 ・第3ステップ 試行を積み重ねながら、定期的な連携会議の設置など、恒常的な仕組みづくりを行う。</p>	
		区役所が、これまで比較的関わりが薄かった高齢者支援や子育て家庭支援等の地域福祉や児童の健全育成等の分野の地域活動団体との定期的な情報交換の場を設け、情報交換から明らかになった団体が抱える問題解決の加速化に向けて、区役所がコーディネーター役となって団体間や関連の本庁部局や支援機関との連携を進め、こうした取組を積み重ねながら、有機的なネットワーク化を図り、地域連携体制の構築を目指します。			評価		

No.	事務事業名		平成26年度		平成27年度 指標・目標	広域 連携の 有効性	
	事務事業の概要		指標・目標	実績・評価等	目標達成により 得られる成果		
3 地域との協働による区民の誰もが“安全で安心して暮らせる”地域づくりを進めます。							
1	中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト[再掲]		<p>・年度当初、各種地域活動団体・市民団体や大学・企業等のヒアリングを広範に行い、その結果を踏まえてテーマを設定し、複数のプロジェクトを、8月頃を目途に立ち上げる。</p> <p>・テーマごとに異なる分野の団体等をメンバーとするプロジェクトを実施し、相互の補完効果や相乗効果により、地域の課題解決や活性化に向けた取組みの実効性を高め加速化させる。</p>	実績	<p>・区内の各種団体にヒアリングを行い、区ビジョンの実現を目的に、団体から推薦をいただいた委員31人の「中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト実行委員会」が8月に立ち上がった。</p> <p>・実行委員会の中にプロジェクト事業を実施するプロジェクト部と広報宣伝を行う広報宣伝部を設置し、プロジェクト部内に5つのプロジェクト班を置き、事業実施に向けた取組みを始めた。</p> <p>【プロジェクト部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯・交通安全 ・福祉・健康 ・文化・教育・スポーツ ・商業・イベント ・魅力発信 <p>【広報宣伝部】</p>	<p>前年度に検討・準備を進めてきた取組を着実に実施するとともに、取組の振り返りを行いながら、次のステップに向けた検討を行い、更なる取組を進める。</p>	
	評価	<p>これまでに参加したことがない団体・企業の参加や、これまでにない発想での取組が進められたことにより、地域の課題の解決や活性化に向けた区民主体の新たな取組が開始できた。</p>		<p>プロジェクトの取組を広く区民に知ってもらうことにより、プロジェクトの背景となる課題や目的に対する区民の理解を深め、課題解決の加速化につながる事業の拡充や新たな取組を促進できる。</p>			
2	新	地区防災計画策定支援		実績		区内9地区で地域防災計画を策定する。	
		評価			地域と区の連携による地域特性を活かした計画を策定する。		
3		自主防災組織への育成指導	<p>・関係団体と連携を取りながら防災意識の強化を図る。</p>	実績	<p>すべての地区連主催の防災訓練を通じて、育成指導を行うとともに、関係団体と連携強化を図った。</p>	<p>・関係団体と連携し区民の防災意識の強化を図る。</p>	
		評価		<p>予定通り実施できた。</p>	<p>・自主防災隊が災害時に有効に活動できるよう組織の充実強化を図る。</p>		

No.	事務事業名		平成26年度		平成27年度 指標・目標	広域 連携の 有効性
	事務事業の概要		指標・目標	実績・評価等	目標達成により 得られる成果	
4	防犯活動の推進		・省エネ型防犯灯(LED)への切替の 推進:平成26年度の設置割合を平成 25年度末10.3%(1,688灯)から13.5% (2,224灯)に増やす。 ・地域団体や関係機関と連携及び区 版広報紙、地域情報紙及び区ホーム ページ等を通じて、防犯に関し、さら なる普及啓発を進める。 ・各種団体と連携し、地域の特色に 応じた防犯パトロールを実施する。 ・各種団体と連携した防犯活動を展 開する組織について検討する。	実績 ・省エネ型防犯灯(LED)への設置を促 進することができた。平成27年1月末時 点、14.33%(2,361灯) ・地域団体や関係機関との連携及び区 版広報紙、地域情報紙、中央区ブログ 「相模原市中央区 交通安全・防犯実施 レポート」を通じて防犯の普及啓発を進 めた。 ・各団体と連携し、地域の特色に応じて 防犯パトロールを実施した。	・平成28年度より実 施予定の防犯灯一 斉LED化(ESCO事 業)に向けた取り組 みを進める。 ・地域団体や関係機 関と連携及び区版 広報紙、地域情報紙 及び区ホームページ 等を通じて、防犯に関 し、さらなる普及啓発 を進める。 ・各種団体と連携し、 地域の特色に応じた 防犯パトロールを実 施する。	
	犯罪発生への撲滅に向けた取組を進 めます。			評価 ・省エネ型防犯灯(LED)への切替の推 進によりCO2の削減による環境への配 慮と維持管理費の軽減を図った。 ・啓発活動等を通じて地域防犯力の向 上を進めた。	地域の防犯力が向 上する。	
5	交通事故防止活動の推進		・関係団体と連携し、さらなる交通 安全の普及啓発活動に取り組む。 ・「中央区自転車事故等対策連絡 会」において、事故状況の分析を行 い、自転車事故防止に向けた効果的 な啓発活動の手法について検討を 進める。 ・高齢者向けの交通安全啓発活動に 取り組む。	実績 ・関係団体と連携し、交通安全啓発活 動に取り組み、実施結果を「相模原市中央 区 交通安全・防犯実施レポート」に掲載 した。 ・「中央区自転車事故等対策連絡会」に おいて、自転車事故防止に向けて連絡 調整、連携を図った。 ・関係団体と連携し、高齢者向けの交通 安全啓発活動に取り組んだ。	・関係団体と連携し、 さらなる交通安全の 普及啓発活動に取り 組む。 ・「中央区自転車事 故等対策連絡会」に おいて、事故状況等 の情報交換を行い、 自転車事故防止に 向けた効果的な啓発 活動について検討を 進める。 ・高齢者向けの交通 安全啓発活動に取り 組む。 ・中央区役所職員に よる自転車事故撲滅 アクションプランを策 定し、事故防止意識 を高めるための周 知・啓発活動を行う。	
	交通事故の撲滅に向けた取組を進 めます。			評価 関係機関と連携及び調整を行い、各種 啓発活動を通して交通安全意識の向上 を図った。	交通安全に関する意 識向上が図られる。	
6	災害時における区本部等の運営		・複数の通信機器を活用し、情報伝 達経路の確保を図り、災害時に的確 に対応できるよう訓練を行う。 ・訓練回数:9回	実績 区本部にデジタル簡易無線用アンテナ を整備したことによる無線の検証を含め た訓練や大雪対応の図上訓練など内容 を充実し実施した。	・複数の通信機器を 活用し、情報伝達経 路の確保を図り、災 害時に的確に対応で きるよう訓練を行う。 ・訓練回数:9回	
	大規模災害時における電話不通時 に備え、さまざまな通信機器を活用 した訓練など、区本部、現地対策班、 避難所運営協議会の連携による運 営訓練を実施します。			評価 目標の訓練回数9回を実施した。	防災意識の啓発及 び災害発生時の冷 静な判断力を養うこ とができる。	
7	避難所運営協議会の活動支援		・組織率100%の維持継続 ・災害時における情報伝達や収集手 段の周知を図るとともに情報機器の 運用支援を行う。	実績 ・避難所運営マニュアルの改訂に伴い、 避難所運営協議会長への説明会を開催 し、活動支援を行った。 ・避難所運営訓練に対する補助金を交 付した。	・避難所運営協議会 組織率100%の維持 継続 ・災害時における情 報伝達や収集手段 の周知を図る。	
	避難所運営訓練に対する支援を行 います。			評価 予定通り実施した。	自助・共助の意識付 け及び防災行動力の 向上を図ることが できる。	

No.	事務事業名		平成26年度		平成27年度 指標・目標	広域 連携の 有効性	
	事務事業の概要		指標・目標	実績・評価等	目標達成により 得られる成果		
4 区民との協働による区民の誰もが“夢と希望を持てる”地域づくりを進めます。							
1	中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト[再掲]		<p>中央区の将来像を示す「中央区ビジョン」の実現をめざして、区民会議やまちづくり会議で議論されてきた検討課題を実行する組織として、様々な分野の活動団体等が横断的に連携し、5つの個別プロジェクト(防犯・交通安全、福祉・健康、文化・教育・スポーツ、商業・イベント、魅力発信)の実施と広報宣伝を行います。</p>	<p>・年度当初、各種地域活動団体・市民団体や大学・企業等のヒアリングを広範に行い、その結果を踏まえてテーマを設定し、複数のプロジェクトを、8月頃を目途に立ち上げる。 ・テーマごとに異なる分野の団体等をメンバーとするプロジェクトを実施し、相互の補完効果や相乗効果により、地域の課題解決や活性化に向けた取組みの実効性を高め加速化させる。</p>	<p>・区内の各種団体にヒアリングを行い、区ビジョンの実現を目的に、団体から推薦をいただいた委員31人の「中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト実行員会」が8月に立ち上がった。 ・実行委員会の中にプロジェクト事業を実施するプロジェクト部と広報宣伝を行う広報宣伝部を設置し、プロジェクト部内に5つのプロジェクト班を置き、事業実施に向けた取組みを始めた。 【プロジェクト部】 ・防犯・交通安全 ・福祉・健康 ・文化・教育・スポーツ ・商業・イベント ・魅力発信 【広報宣伝部】</p>	<p>前年度に検討・準備を進めてきた取組を着実に実施するとともに、取組の振り返りを行いながら、次のステップに向けた検討を行い、更なる取組を進める。</p>	
				<p>これまでに参加したことがない団体・企業の参加や、これまでにない発想での取組が進められたことにより、地域の課題の解決や活性化に向けた区民主体の新たな取組が開始できた。</p>	<p>プロジェクトの取組を広く区民に知ってもらうことにより、プロジェクトの背景となる課題や目的に対する区民の理解を深め、課題解決の加速化につながる事業の拡充や新たな取組を促進できる。</p>		
2	商店街振興		<p>・様々な地域団体との連携により、活気ある商店街づくりに取り組む。 ・街路灯の整備や空き店舗対策などにぎわいづくりや環境整備に努めます。</p>	<p>・自治会や子ども会、大学、高校などと協働でイベントを開催し、若い力を活用した。 ・老朽化した商店街灯の撤去や破損箇所の修理など商店街の環境整備を行った。 ・イベント開催時など報道提供し、商店街の活気づくりに寄与した。</p>	<p>・様々な地域団体との連携により、活気ある商店街づくりに取り組む。 ・街路灯の整備や空き店舗対策などにぎわいづくりや商店街の環境整備に努める。</p>		
		<p>活気ある商店街づくりに向けた取り組みを支援します。</p>		<p>商店街の特性に応じた課題解決や活気づくりの取組に寄与した。</p>	<p>活気ある商店街づくりを促す。</p>		
3	地域イベントの支援		<p>・地域活性化イベント(相模ねぶたカーニバル、大野北銀河まつり)を支援する。 ・地域市民まつりを支援する。</p>	<p>・相模ねぶたカーニバル 自治会、商店会、子ども会、小中学校の参加により、工夫を凝らした可愛い手作りのねぶた・子ねぶたが製作され、広く市内外の観光客から親しまれ、地域コミュニティの醸成に寄与することができた。 ・大野北銀河まつり 地区のシンボルパークとも言える鹿沼公園でダンスや歌などの発表を通して誘客を図ると共に、地域住民や関係団体で構成した実行委員会によるイベントの企画や準備の過程を通じて、人と人との繋がりを強め、地域コミュニティの醸成に寄与することができた。 ・地域市民まつり 各地区で開催されているふるさとまつりを支援した。(9地区)</p>	<p>・地域活性化イベント(大野北銀河まつり)を支援する。 ・地域市民まつりを支援する。</p>		
		<p>更なるコミュニティの醸成に向けた地域イベントを支援します。</p>		<p>市内外へのアピールと地域コミュニティの醸成に寄与した。</p>	<p>地域コミュニティの醸成を促す。</p>		
4	区制施行5周年の取組		<p>区制施行5周年の節目に、区民意識の高揚や一体感の醸成をよりいっそう図ることを目的に、職員が主体となって全面的に企画・実行し、地域活性化につながる事業を実施します。</p>	<p>職員プロジェクトによる企画・実行の中で、職員が提案する記念事業を実施するとともに、中央区マップの作成及び区民参加によるウォーキングの開催に向け取り組む。</p>			
	新	<p>5周年の節目を区民と共有することができる。</p>					

No.	事務事業名		平成26年度		平成27年度 指標・目標	広域 連携の 有効性
	事務事業の概要		指標・目標	実績・評価等	目標達成により 得られる成果	
5 区民の立場に立ったきめ細やかな行政サービスを通じて、CS（顧客満足度）の向上に努めます。						
1	窓口の土曜日開庁		毎月第2・第4土曜日に区役所区民課の窓口を開庁する。また、市民満足度の向上に向けて、市民ニーズに対応した窓口の在り方について研究を進める。	実績 土曜日に窓口を開庁することにより多様化する市民ニーズに対応することができた。 特に印鑑登録について、平日の来庁が困難な市民に対して、本人申請による即日登録・証明書の発行件数が増加した。 自動窓口受付システムの更新に伴う「最終呼出番号・待ち人数表示モニターの新設」「情報発信サービスの開始」により窓口受付待ち合い環境の向上を図った。	継続して、毎月第2・第4土曜日に区役所区民課の窓口を開庁する。 窓口アンケートを実施し、その結果を解析し、市民ニーズの把握を行う。	
	行政サービスの向上を図るため、毎月第2・第4土曜日に区役所区民課の窓口を開庁します。			評価 ・平日以外のニーズへの対応ができた。 ・住民異動 867件 1000件 ・印鑑登録 825件 845件 ・平日窓口混雑緩和等区民の利便性向上に寄与した。	市民サービスの向上に寄与する。	
2	市民相談体制の充実		区民の多様化した相談内容に対応した各種相談を実施する。また、区民の相談ニーズ、社会情勢の変化に応じた相談業務体制を適宜検討し、充実を図る。	実績 ・犯罪被害者等相談を実施した(生活安全課事業)。 ・周知用チラシ「相談のご案内」の不動産相談の内容を、社会情勢(空き家対策)を反映したものとした。	交通事故相談を3区でそれぞれ開設することにより、相談体制の充実と相互連携を図る。	
	区民の多様な相談に対応するため、市民相談や法律相談その他の行政相談などを実施します。			評価 ・犯罪被害者等相談件数(平成27年3月開設) 0件 ・不動産相談件数(月1回) 44件	相談者の利便の向上を図れる。	
3	職員あいさつ運動の実施		職員プロジェクトを組織し、実現可能な方策について検討する。	実績 年度当初から職員プロジェクトを組織し、実践可能な方策について、「笑顔であいさつ」をテーマとした検討を行い、その結果を反映した「中央区役所職員“笑顔であいさつ”基本方針」を策定した。 ・ポスター・ワッペンによるアピール ・チェックシートの作成 ・職員間での挨拶の励行など	「中央区区役所職員“笑顔であいさつ”基本方針」を継承し、実践するとともに、CS(顧客満足度)を把握するためのアンケート調査を実施する。	
	中央区の魅力は職員が率先垂範して創ることが肝要であることから、区役所職員自らが明るく、親しまれる接客を行うための取組として、あいさつ運動を推進します。			評価 職員のあいさつを徹底し、相手の立場に立った接遇を通じて、CS(顧客満足度)の向上に努めた。	区民から信頼される区役所を目指す。	
4	区民の声システムの構築		既存の「区民の声システム」の情報に加えて、汎用ソフトウェアを活用したシステムにより「区民の声」を共有化する。	実績 窓口や現場で把握した区民の声や意見、及び日常業務での職員の気付きのうち、区行政に係る情報を一元的に管理できる「区民の声システム」を構築し、職員ポータルサイトで運営した。	「区民の声」を素材とした研修を業務セッションごとに年1回行う。 「区民の声システム」を反映した事務改善を行う。	
	市民相談や各窓口で把握した区民の声・意見のうち、区行政に係るものを抽出し、区役所全体で共有することにより、各事業に反映させる仕組みを構築します。			評価 試行運用を開始したが、運用が定着していないため、新年度に研修会を行い利用度を高める。	情報の共有化を図ることにより、市民サービスの向上に寄与する。	

本年度の主な事業(取組)

【新:H27新規目標】

No.	主な取組	部名/課名	内容	事業費(千円)	広域連携の有効性
1 区ビジョンの実現に向け、区民会議の運営やまちづくり会議の支援とともに、異業種交流による新たな発想での取組みを行う「中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト」を実行し、区民との協働によるまちづくりを進めます。					
1	区ビジョンの推進事業	区政策課	・区民意識・意向の把握 ・無作為抽出の手法を用いた意見交換会の開催 ・学生との協働イベント(ワークショップ等)の開催	3,000	
2	区民会議の運営	区政策課	区のまちづくりについて話し合う「中央区区民会議」の運営	1,820	
3	まちづくり会議の運営支援	各まちづくりセンター	各地域の地域力を高めるための「まちづくり会議」の運営を支援	700	
4	区の魅力発信事業	地域振興課	・区の一体感や区民意識の醸成のための事業の実施(区のイメージソングの活用、活用方法の周知等) ・各種媒体を活用した情報発信 ・各地域における活動やイベントなどの紹介	5,240	
2 地域の自主的な活動を促進するとともに、自治会等地域活動団体の活性化を図るため、幅広く団体間の連携等を進める「(仮称)中央区支え合い・助け合いの地域連携推進体制」を新たに構築し、区民主体のまちづくりを進めます。					
1	地域政策担当の配置	各まちづくりセンター	地域の公益的活動の支援や区内の政策形成を行う体制の構築		
2	地域活性化事業交付金	各まちづくりセンター	・自治会への加入促進など、地域の活性化や課題解決のため区民が自主的に取り組む事業に対する交付金(各地区3,000千円) ・事業報告会の実施	27,000	
3	自治会集会所建設費等補助金	地域振興課	栄町自治会、虹吹自治会、番田諏訪面自治会に対する補助	2,516	
4	地域要望への対応	地域振興課 各まちづくりセンター	地域住民、地域団体等から寄せられる要望に対しての地域内での調整、庁内関係課との調整		
3 地域との協働による区民の誰もが“安全で安心して暮らせる”地域づくりを進めます。					
1	自主防災組織活動の支援	地域振興課	自主防災組織の資機材の整備や防災活動・訓練活動等に対する助成、研修への支援	5,998	
2	防災及び減災にかかる資機材の整備	地域振興課	区本部、現地対策班及び避難所運営に必要な物品の計画的な整備	385	
3	防犯灯維持管理費補助金	地域振興課	自治会管理の防犯灯の電気料及び管理費に対する補助	80,196	
4	防犯灯設置費補助金	地域振興課	・自治会による防犯灯の設置及び撤去・移設に対する補助 ・省エネ型防犯灯の設置促進	3,014	
4 区民との協働による区民の誰もが“夢と希望を持てる”地域づくりを進めます。					
1	商店街環境整備事業補助金	地域振興課	商店街の環境整備を図るため、商店街団体が行う施設整備・共同駐車場・街路灯等の維持管理事業に対する補助	14,857	
2	商店街にぎわいづくり支援事業補助金	地域振興課	商店街の活性化を図るため、商店街が実施するソフト事業に対する補助	3,949	
3	地域活性化イベント事業補助金	地域振興課 大野北まちづくりセンター	大野北銀河まつりの支援	1,027	
4	地域市民まつり等助成金	各まちづくりセンター	各地区で実施されるふるさとまつりに対する助成	2,400	

本年度の主な事業(取組)

【新: H27新規目標】

No.	主な取組	部名/課名	内容	事業費(千円)	広域連携の有効性
5 区民の立場に立ったきめ細やかな行政サービスを通じて、CS(顧客満足度)の向上に努めます。					
1	区版広報紙の発行、区ホームページの作成	区政策課	・身近な行政情報、お知らせ等の情報提供 ・区内の伝統や地域資源等の魅力発信		
2	窓口の土曜日開庁	区民課	毎月第2・第4土曜日の区役所区民課窓口の開庁		
3	市民相談事業	区政策課	区役所における市民相談、法律相談、その他行政相談等の実施	53	
4	まちづくりセンター等の維持補修	区政策課	地域の拠点施設であるまちづくりセンター等の適切な維持補修	22,660	
5	綱紀肅正への取組	全課 各まちづくりセンター	職員一人ひとりの行動が相模原市の評価であることを自覚し、常にコンプライアンス(法令遵守)意識を持って行動する。		
6	あいさつ運動の推進	全課 各まちづくりセンター	中央区役所職員自らが明るく、親しまれる接客を行うための取組として、あいさつ運動を推進する。		
7	災害時における職員としての行動の再確認	全課 各まちづくりセンター	災害発生時における職員各自の役割を再確認するとともに、発災時には状況に応じて迅速かつ的確に対処する。		